




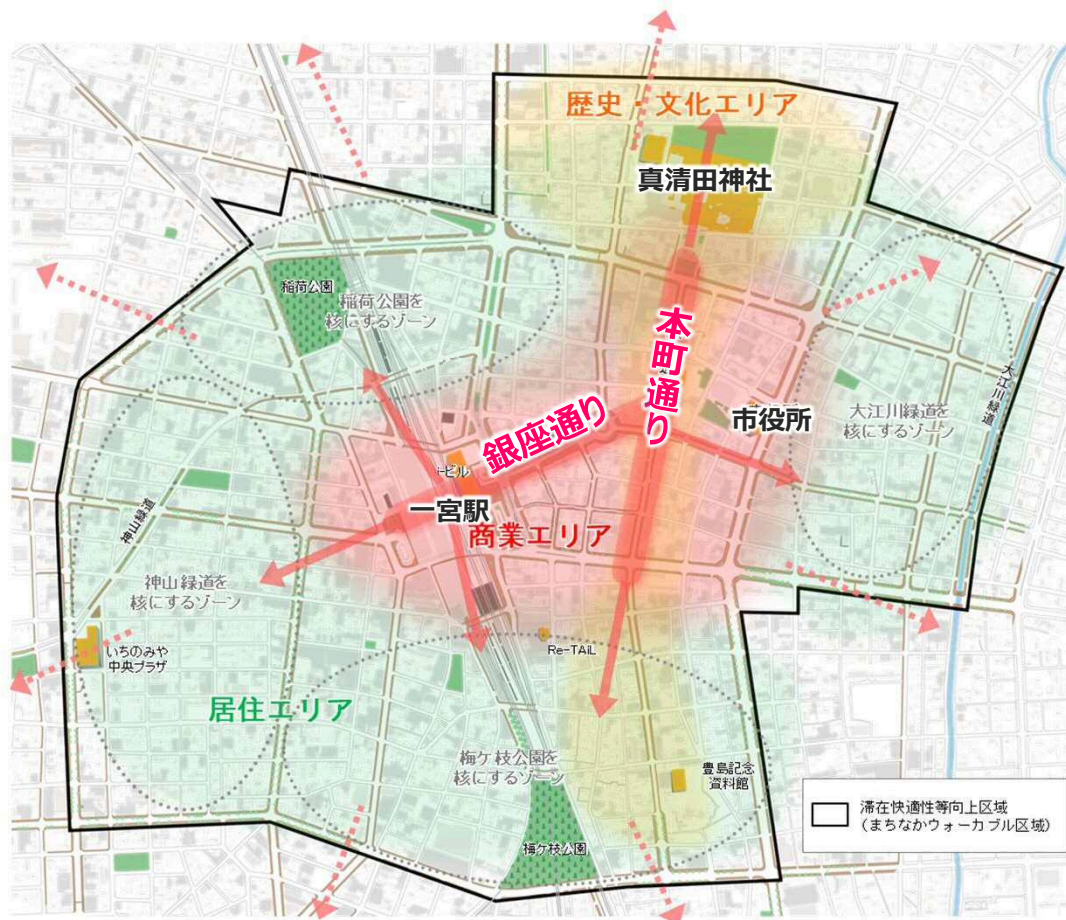
まちなかウォークابل推進事業に係る 対話型説明会

**2025年12月18日
一宮市都市計画課**



本町通りの再整備について

- 一宮駅周辺において、人が主役となれるよう居心地が良く歩きたくなる空間づくりを民間と行政が一緒になって取り組む一宮市ウォカブル空間デザインプロジェクトを推進しています



明治13年



出典: 尾張名所図会

1910年(明治43年)



※第4回まちなかウォカブル空間デザインプロジェクト
尾張市史資料より

1930年(昭和5年)



出典: 名取善山「尾張一宮名勝図絵」(昭和8年発行)市史資料より

1950年(昭和25年)



出典: 一宮市の100年

1958年(昭和33年)第3回七夕まつり



1963年(昭和38年)第8回七夕まつり



これまでの取り組みについて

2020年度

一宮市ウォーカブル空間デザインプロジェクト 始動

「つかう」・「つなぐ」取り組み

「つくる」取り組み

2021年度

ウォーカブル社会実験 ストリートチャレンジ2021

2022年度

一宮まちなか未来会議
設立

ウォーカブル社会実験
ストリートチャレンジ
2022 2023

一宮駅周辺地区
デザイン懇談会の設置

2023年度

ワークショップ
や勉強会

有識者からエリアデザインや
マネジメントについて、
アイデアをいただく

2024年度

未来ビジョン策定・公表

地域の皆さまとの対話を
重ね、整備の大きな
方向性を検討

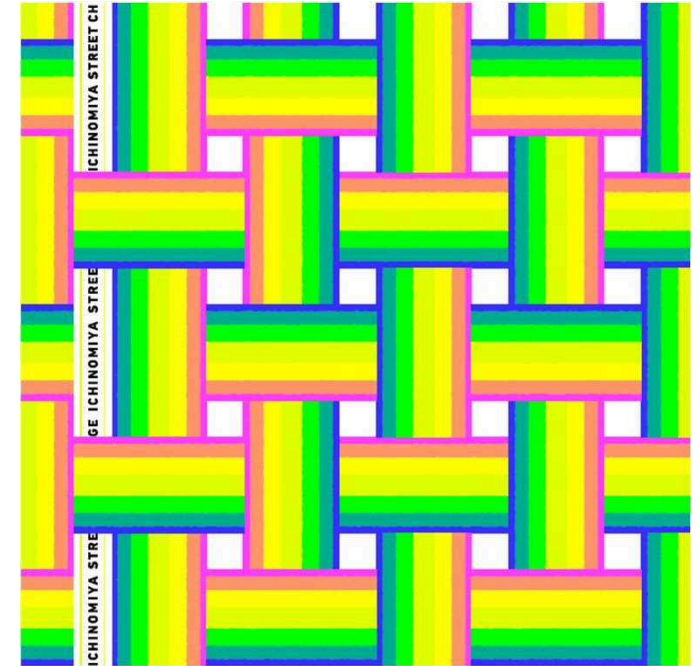
具体的なアクションの展開

まちなかウォーカブル社会実験(2021-2023)

活動の巻き込みとまちなかのポテンシャルの再発見



滞在性の向上が人通りを生む



まちなかウォーカブル社会実験
ストリートチャレンジ

- 2021年には19団体、2022年には約30団体に拡大
- 歩行者数は2021年で9千人、2022年では倍の1万8千人に
- 2022年はプログラムの売上が1,000万円に

一宮まちなか未来会議による未来ビジョンの策定

- ① まちなかに関わる様々な主体が、まちなかの望ましい未来を議論し、共有し、連携すること
- ② まちなかのこれからの変化や期待を市内外の多くの方に知ってもらい、興味を持ち、関わってもらうこと
- ③ まちなかの取り組みと変化を記録し、新たな展開に柔軟に対応しながらその活動を発信すること

未来のまちなかのイメージ



Illustration: 山下ほたる

本町通りエリアビジョン イメージ



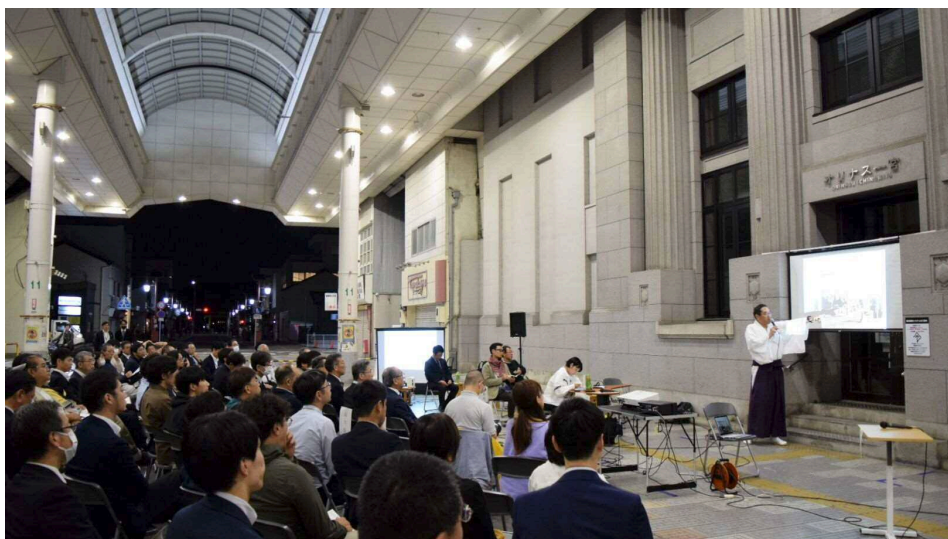
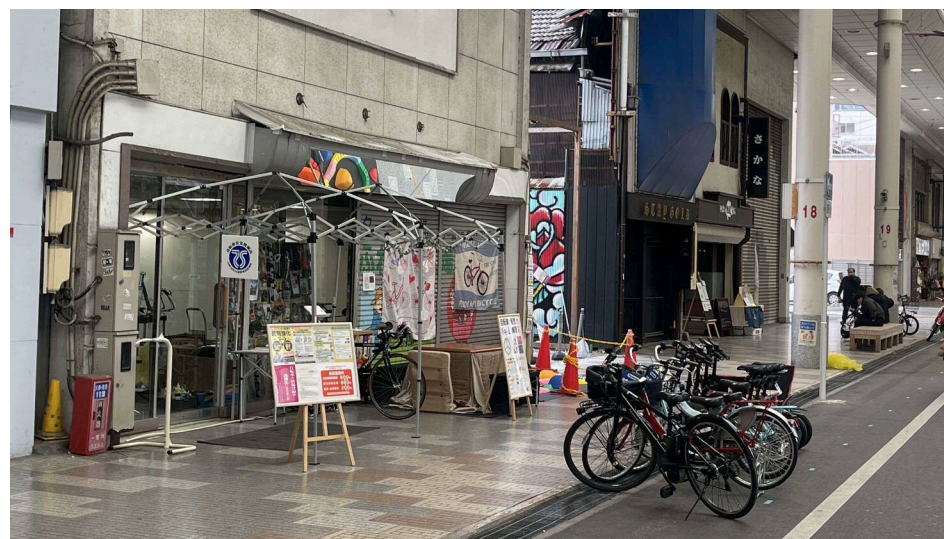
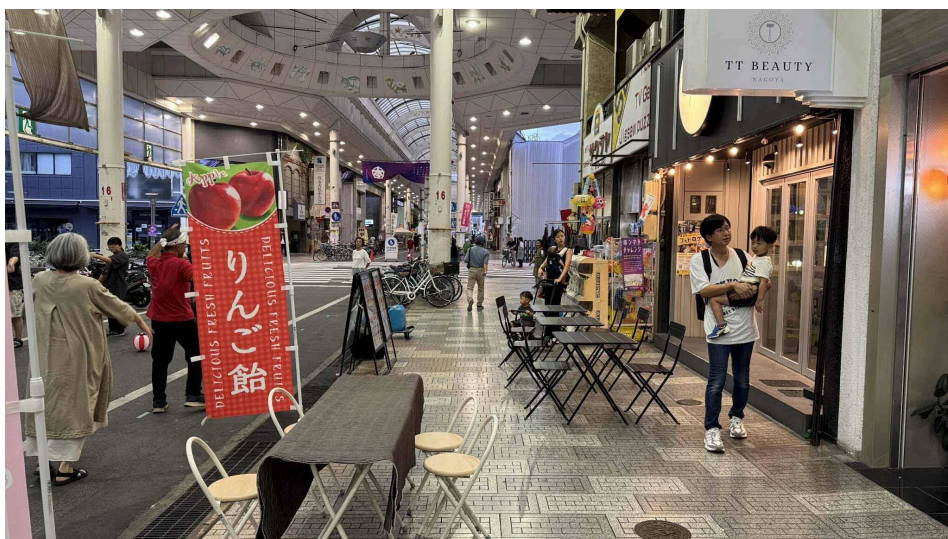
銀座通りエリアビジョン イメージ



Illustration: 山下ほたる

ホンマチチャレンジ

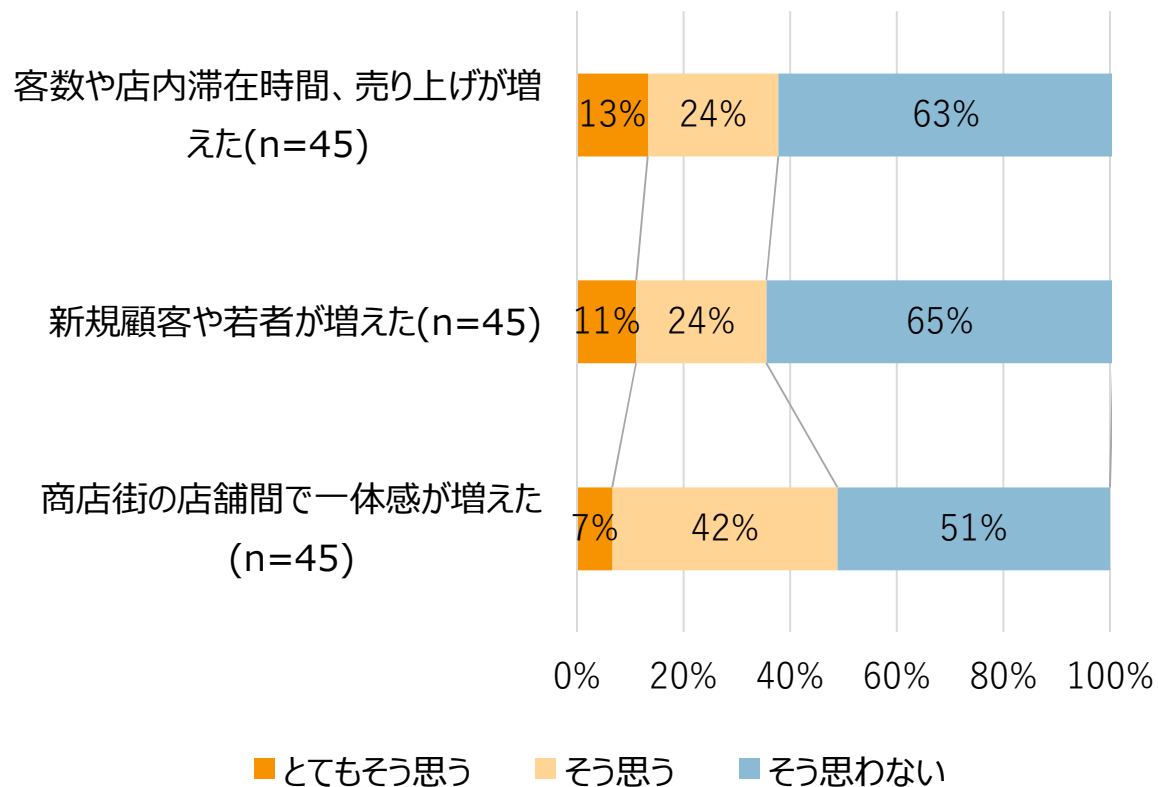
- 2024年からは、「ほこみち（歩行者利便増進道路）」の指定を見据え、本町通りにおいて、沿道店舗がテーブルやイス、商品棚をおくなどして道路空間を活用する「ホンマチチャレンジ」がスタート



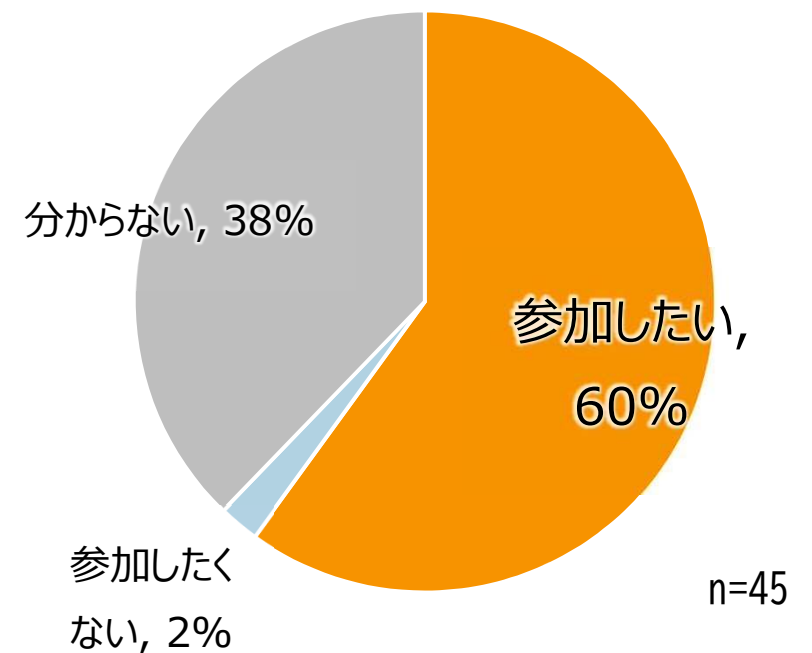
アンケート結果の紹介

- 昨年度のアンケートの結果では、今後の取り組みへの参加意向のある店舗が6割であり、「ほこみち」の継続的な実施に向けた展開を検討

＜ホンマチチャレンジによる効果（店舗）＞



＜今後の取組への参加意向（店舗）＞



本町通りの再整備について

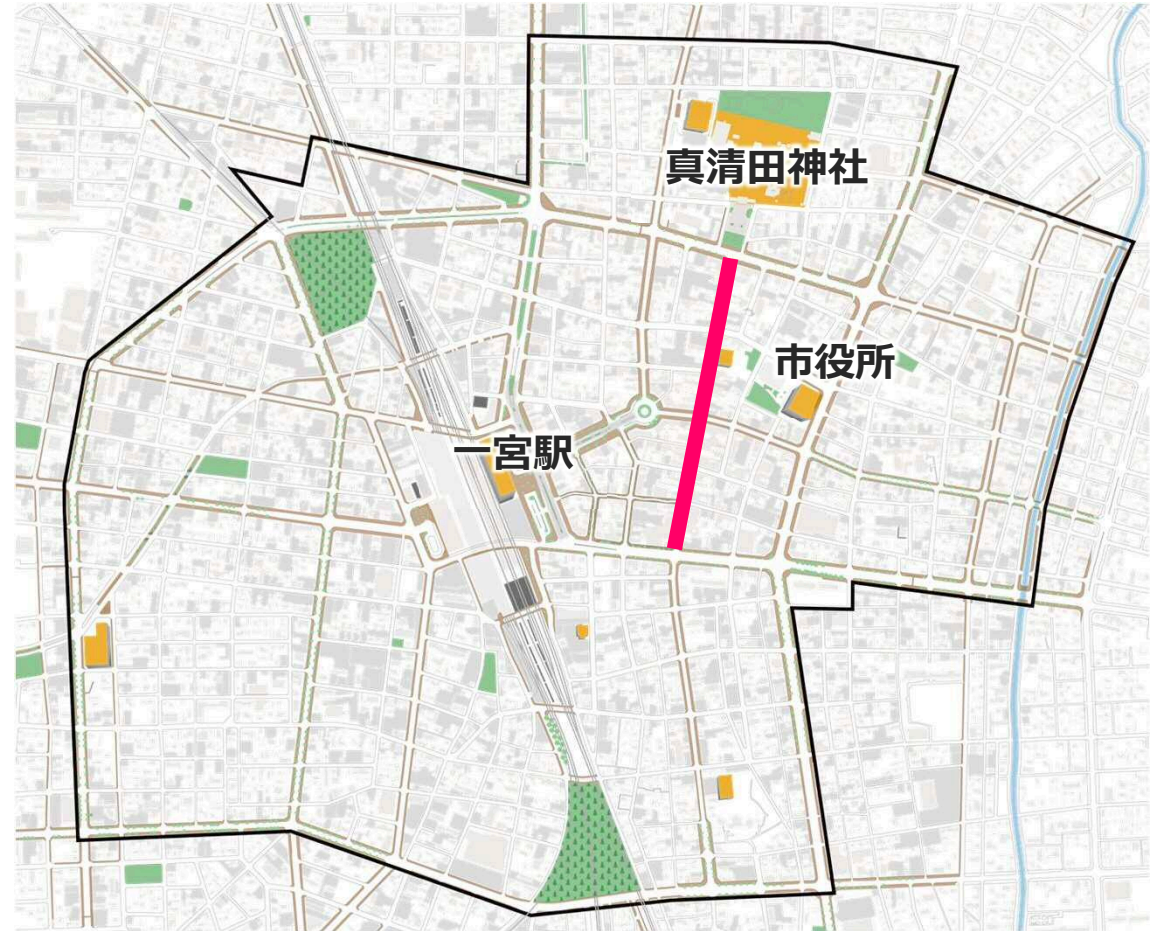
「ほこみち（歩行者利便増進道路）」指定に向け、より使いやすい道路とするため本町通りの再整備を検討



本町通りの再整備検討の前提条件

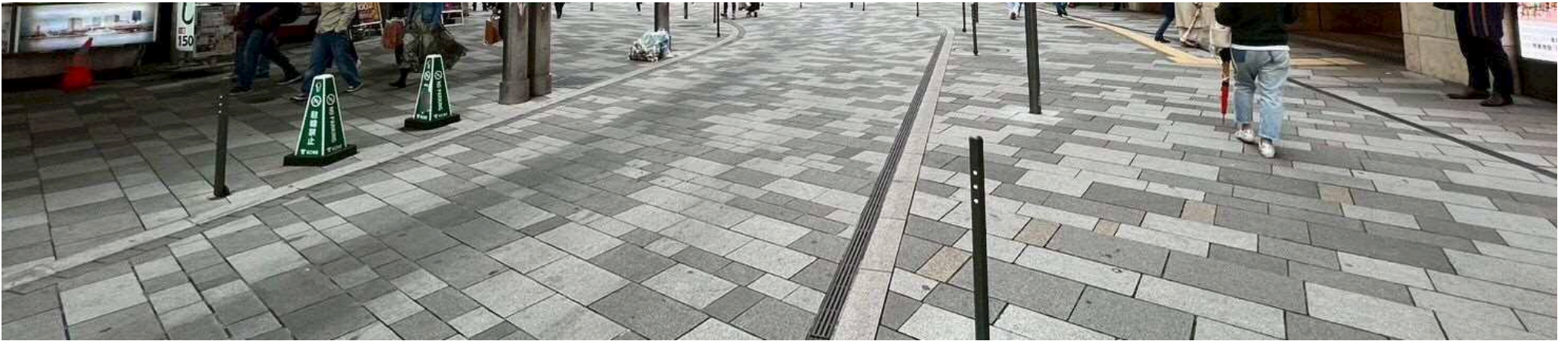
事業範囲：
本町商店街
(国道155号から伝馬通り)

事業主体：
一宮市が事業主体として
道路整備を実施
※商店街の道路整備に
関する費用負担はない



本町通りの再整備検討の前提条件

主たる整備内容：**一体型の道路舗装、排水施設**など



交通規制：**現在と同じ交通規制**を前提とする

道路活用：整備後は**ほこみち指定**により沿道店舗による活用を前提

本町通りの再整備検討の進め方



本町通りの再整備検討におけるポイント

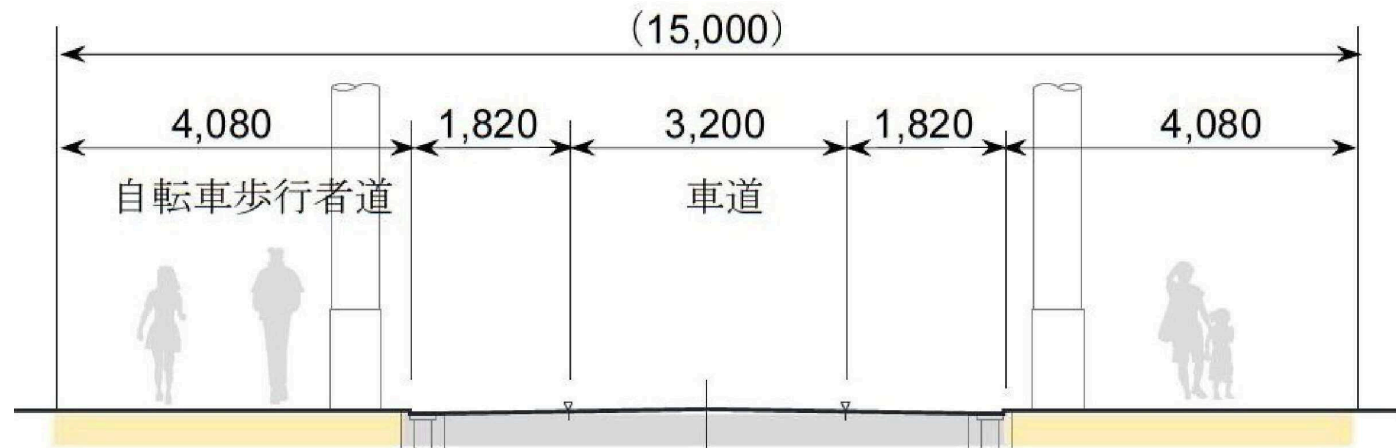
① 日常・暮らしの利用と賑わい・回遊性向上の両立

② 参道らしい風景と連続性の創出

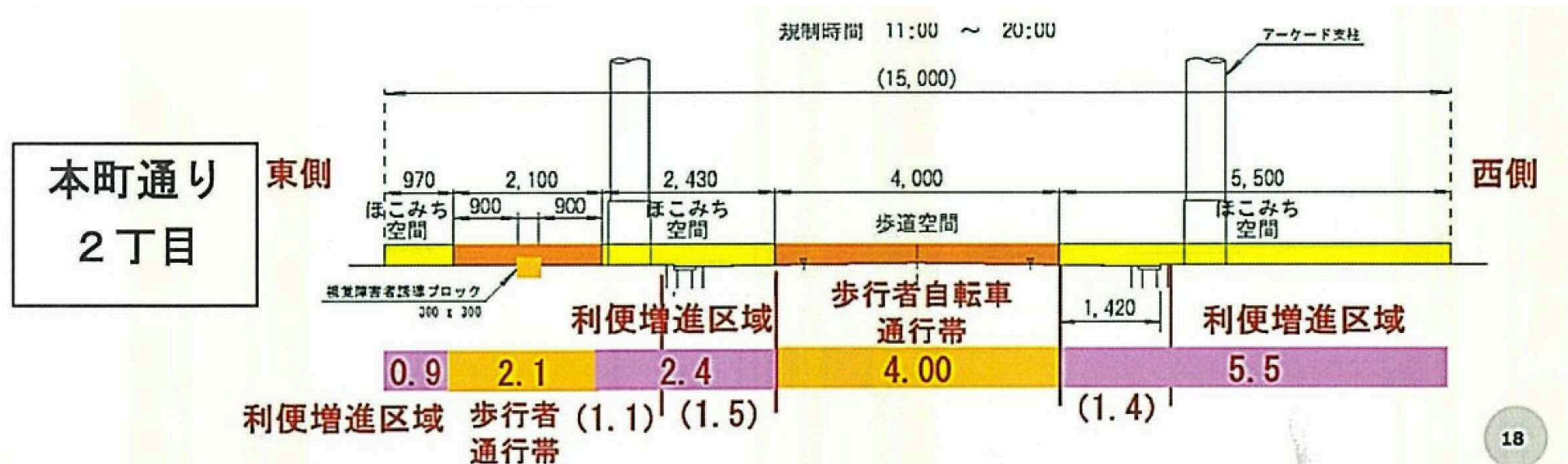
③ 快適かつ楽しく過ごせる工夫ができる仕組み

道路断面の現状

■車両通行時



■利活用時（ホンマチチャレンジ2025）



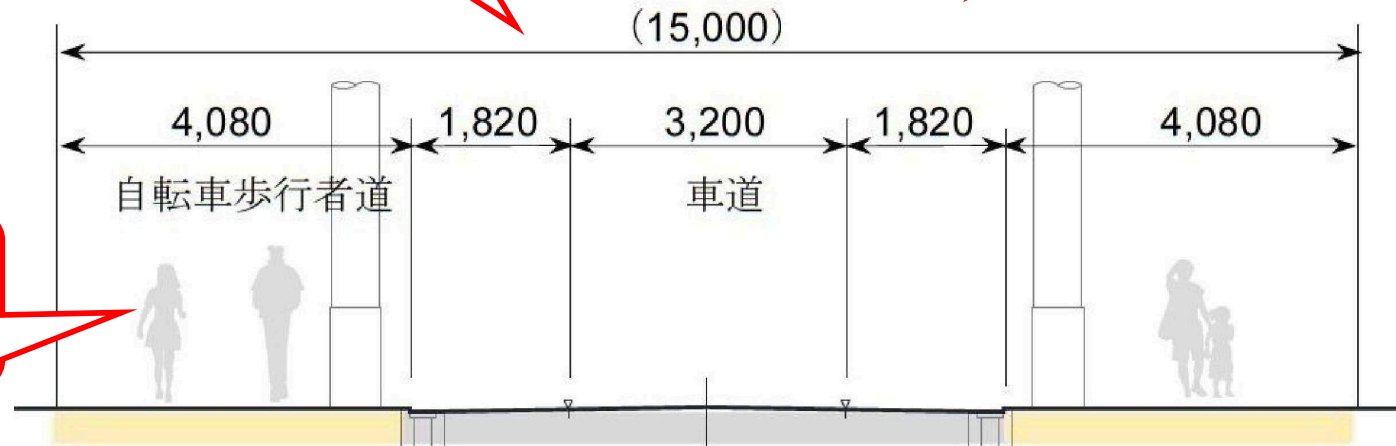
道路断面の現状

通り全体で
連続性を！

歩車道が同じ
舗装だと良い

■車両通行時

参道らしさが
欲しい



■利活用時（ホンマチチャレンジ2025）

営業時間中だと
机やいすの
出し入れできない

本町通り
2丁目

東側

西側



狭くて
使えない

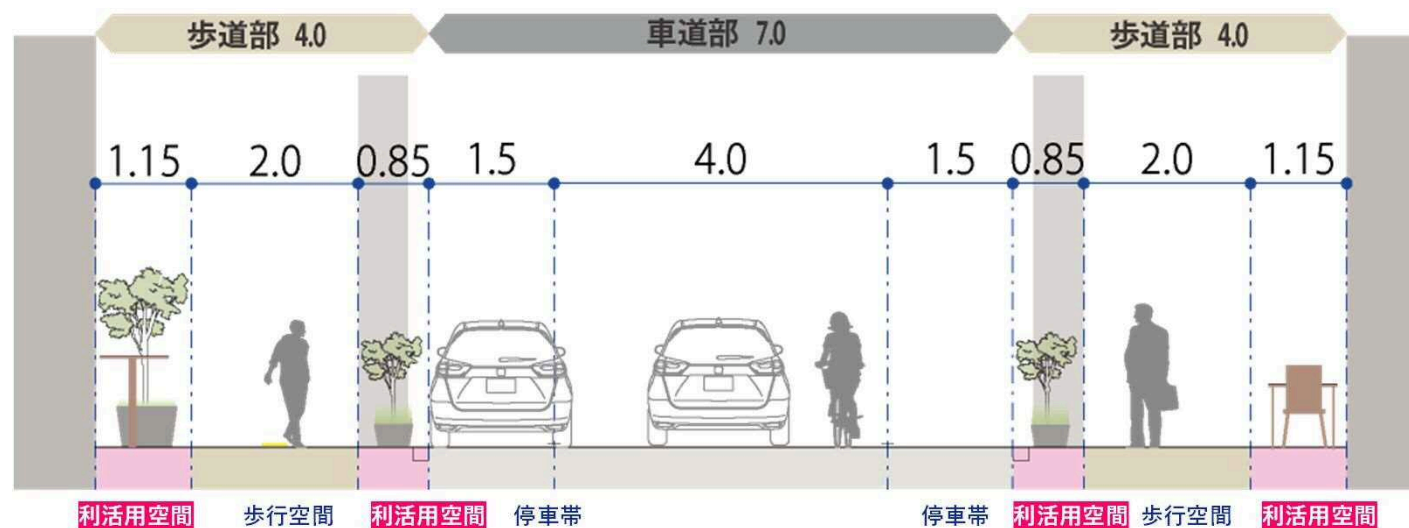
段差があり
使いにくい

道路断面の計画案 前回の2案

- 10月の説明会では、以下の2案を提示しました。
- 警察協議において、「車道7m幅+フルフラット化」は安全性の面から指導が入り、**計画案②の「車道5m幅+セミフラット」の案**で整備を考えています。

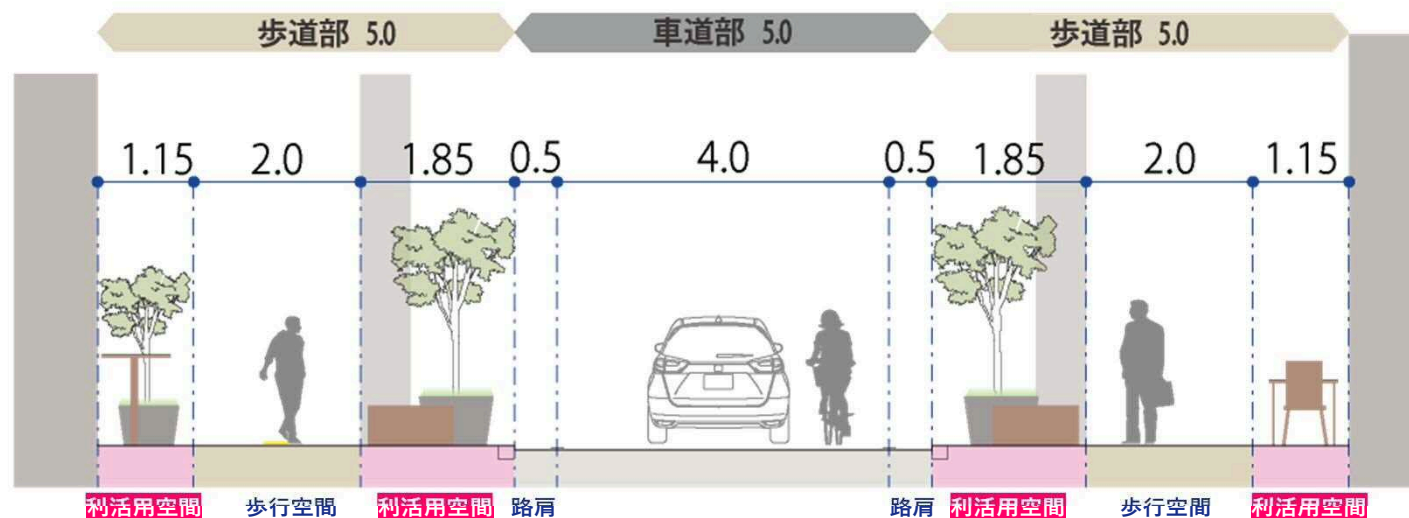
計画案①

車道7m幅+
フルフラット



計画案②

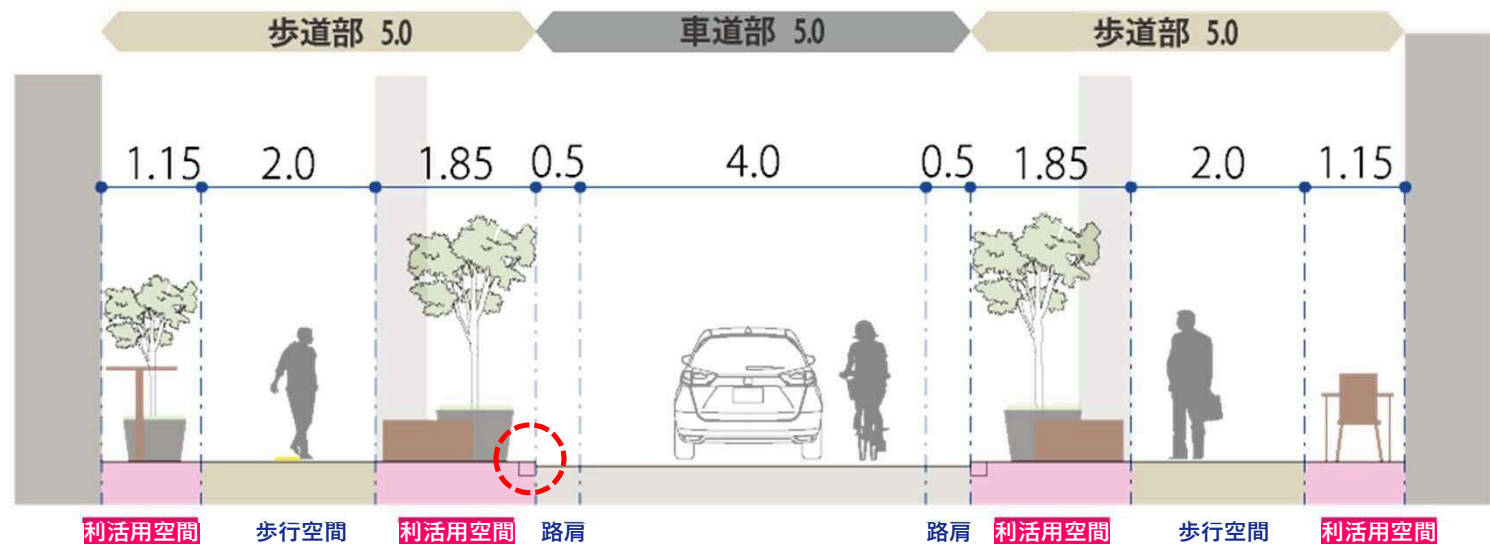
車道5m幅+
セミフラット



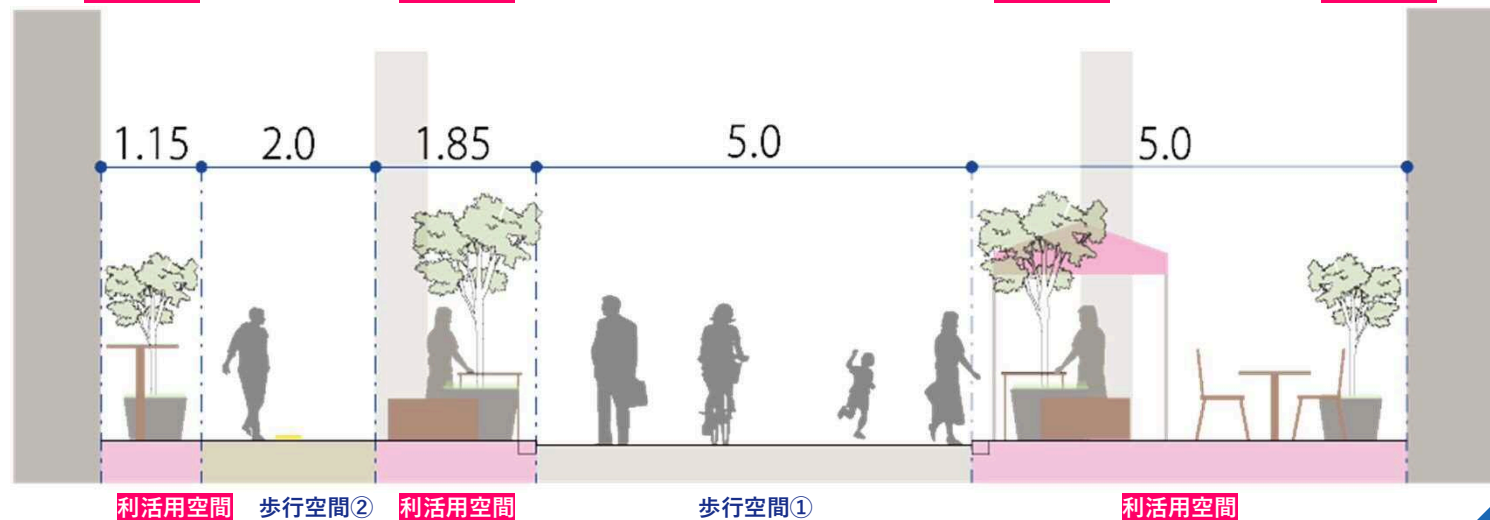
道路断面の計画案

- 車道部が少し縮小するものの、車両のすれ違いは可能な幅であり現在と同様に荷捌きなどでの一時停車が可能な幅員とする予定です。
- 日中も夜間も車道境界の利活用空間が変わらないため、継続的活用が可能に。

■ 車両通行時

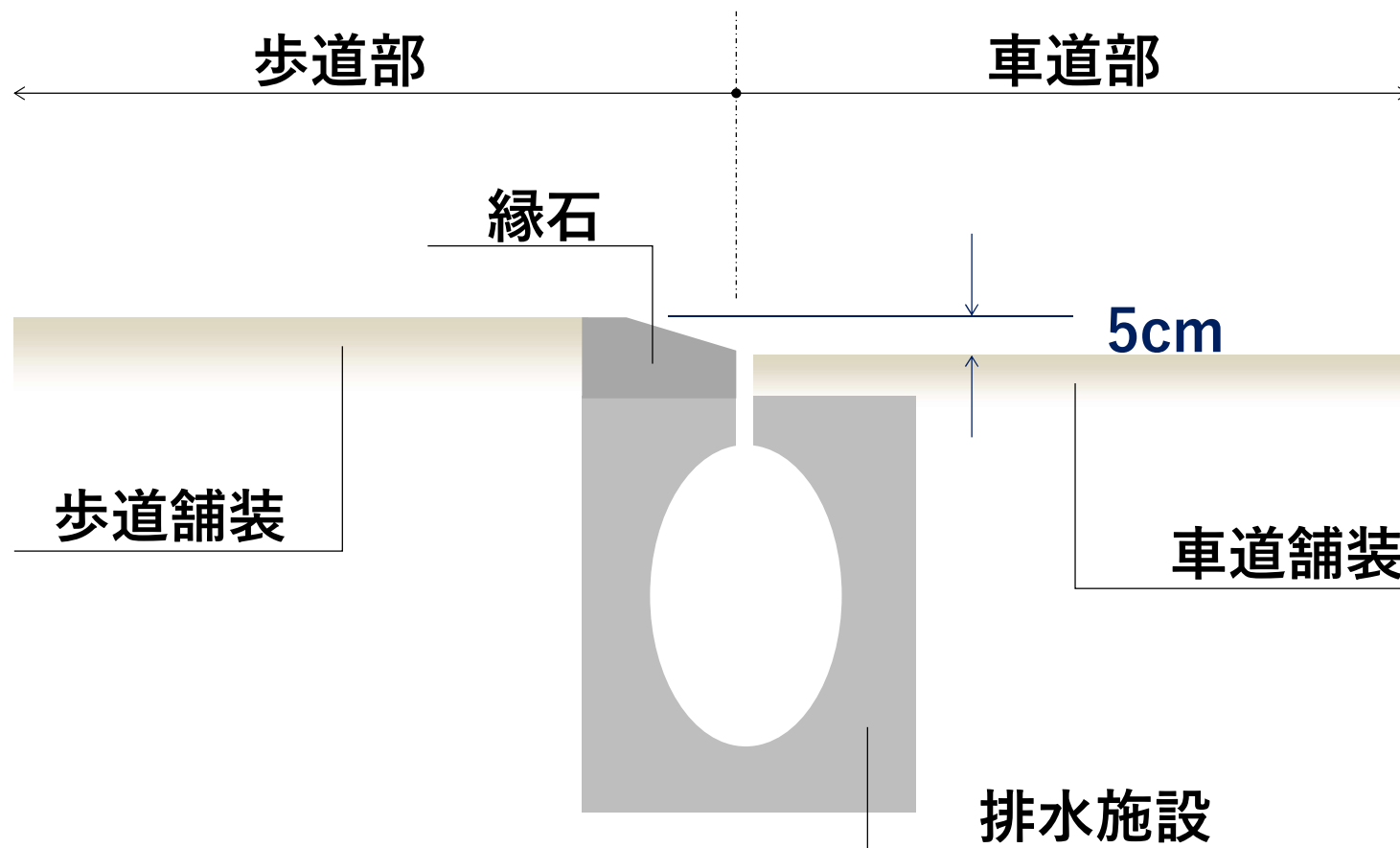


■ 歩行者専用時







歩車道境界の構造について

- 歩車道境界部は現在と同様の縁石による5cm程度の段差を予定しています。
- 縁石の形状等の工夫により、可能な限り滑らかな境界部の実現を検討します。



道路舗装の素材検討

- 道路舗装に用いる素材を比較検討
- 歩きやすさ、景観、維持管理の視点からインターロッキングブロック舗装を推奨

	インターロッキング ブロック舗装	平板ブロック 舗装	半たわみ性 アスファルト舗装	自然石 舗装
写真				
景観性	<ul style="list-style-type: none"> ・自然石調・アースカラー可 ・落ち着きある景観で差別化 ・通りの連続性を出しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然石調・アースカラー可 ・落ち着きある景観で差別化 ・通りの連続性を出しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げにより表情は作れる ・均質的で、通りの連続性や他の通りと差別化しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・格調高い景観と雰囲気 ・参道らしさの演出
使用性	<ul style="list-style-type: none"> ・滑りにくく、凹凸が少ない ・歩行感が固すぎない ・イベント時も安全性を確保 ・透水性の対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・滑りにくく、凹凸が少ない ・歩行感が固すぎない ・局所的な輪荷重により破損するリスクがある ・透水性の対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・滑りにくく、凹凸が少ない ・歩行感が固すぎない ・イベント時も安全性を確保 ・透水性の対応不可 	<ul style="list-style-type: none"> ・滑りにくく、凹凸が少ない ・歩行感が固すぎない ・イベント時も安全性を確保 ・透水性の対応可能
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・個別交換や補修が容易 ・地下埋設対応も対応可能 ・表層の美観劣化がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別交換や補修が容易 ・地下埋設対応も対応可能 ・表層の美観劣化がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的打換えや補修が必要 ・表層の劣化は少ないものの、目地の風化がみられる場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・美観維持に課題あり ・高耐久の素材を使用する場合は、費用が大きく膨らむ。

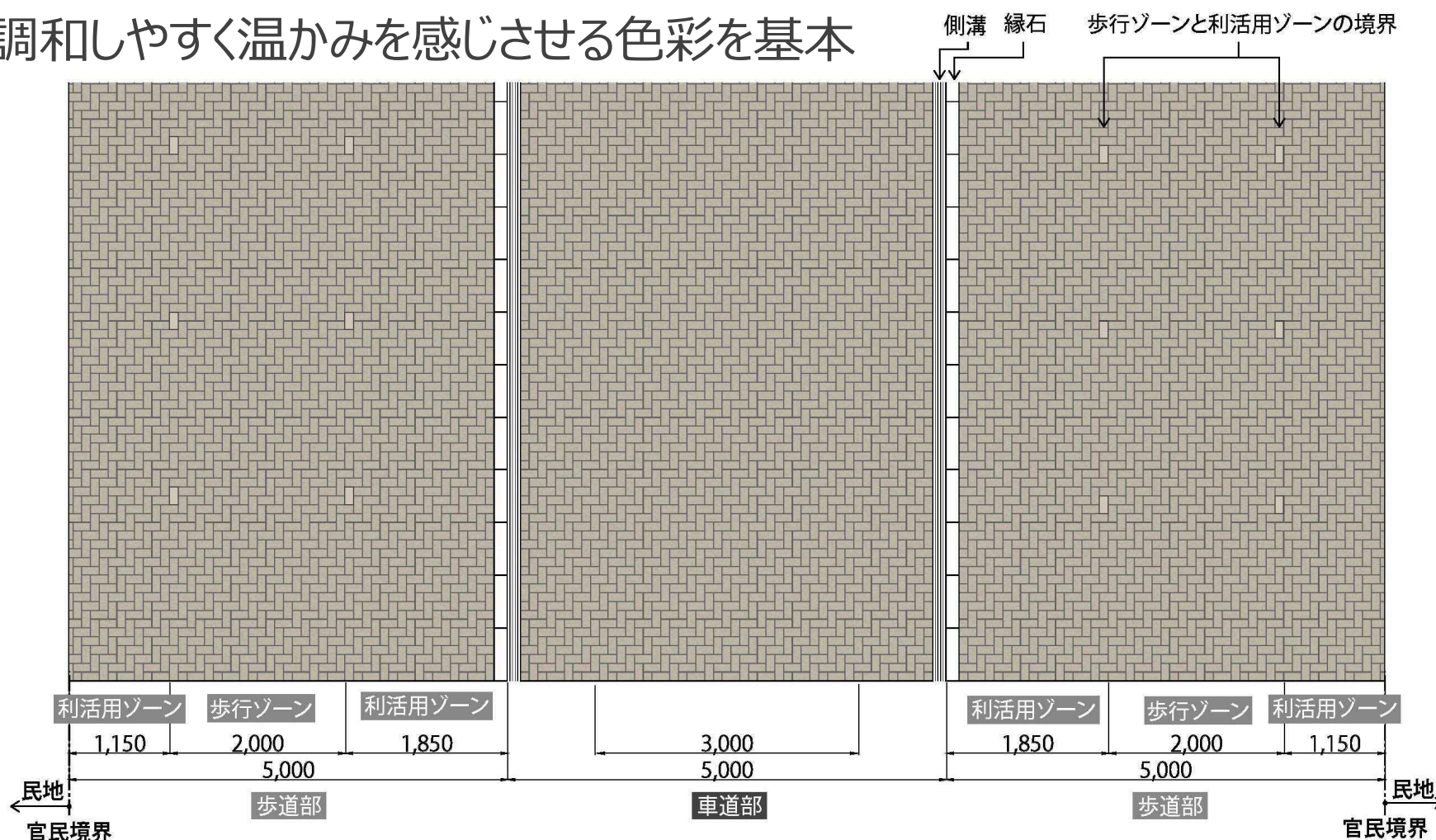
側溝の検討

- 現在の排水側溝は、物を落したり、つまずいたりするリスクもあること、美観に難点があることから、新たに更新を行う予定です。
- 排水性能に十分配慮したうえで、景観に配慮した都市型側溝を検討・採用する予定です。



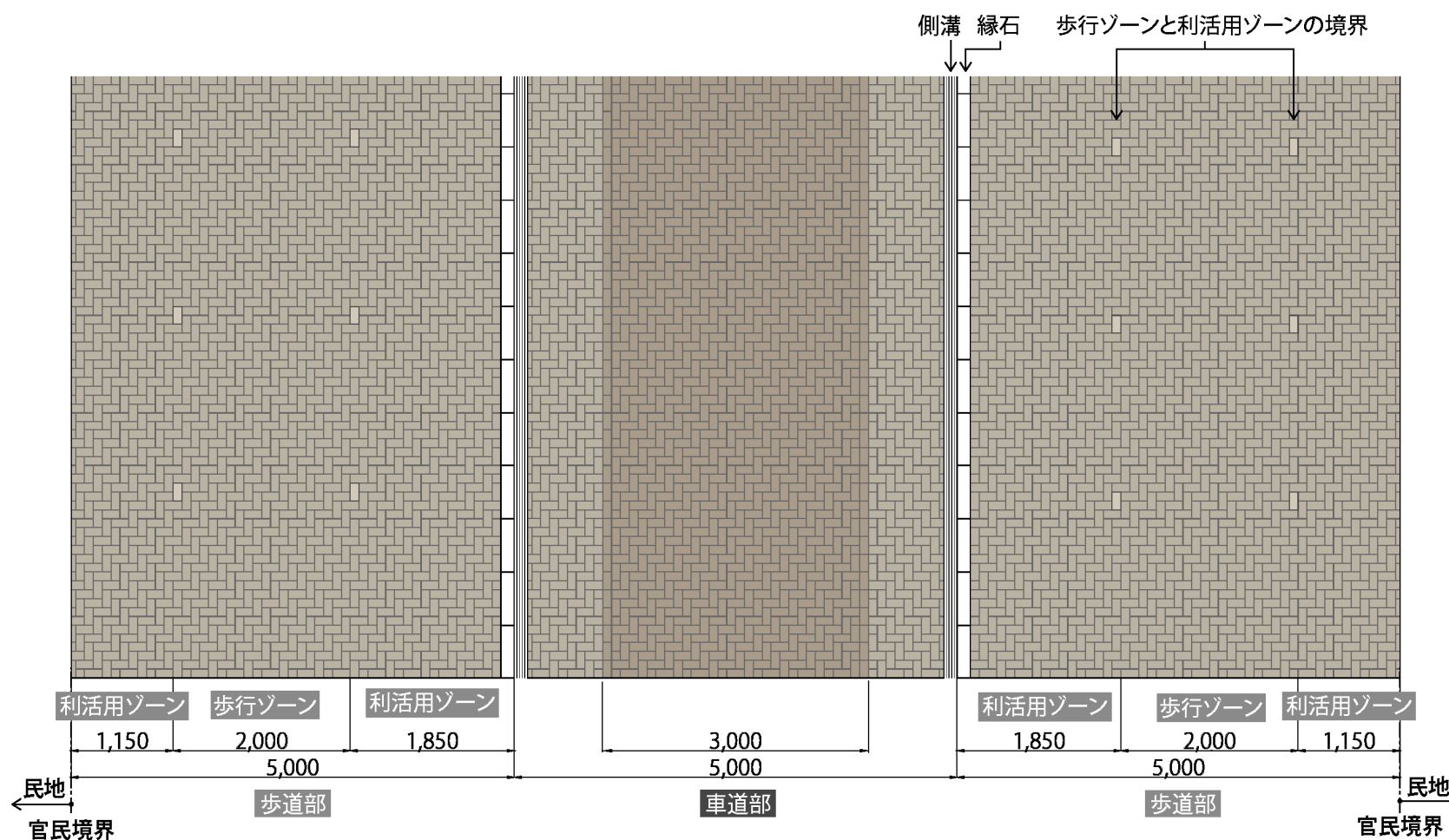
車道・歩道のデザイン

- 参道としての連続性と一体感を感じられるシンプルな舗装パターン
- 利活用空間の明示などは部分的なブロックの変化などによりさりげなく表現
- 本町通りの歴史的文脈や参道としての落ち着いた雰囲気をつまみ、自然素材と調和しやすく温かみを感じさせる色彩を基本



車道・歩道のデザイン

➤ 参道らしさや連続性をより強調する場合の舗装パターンの例



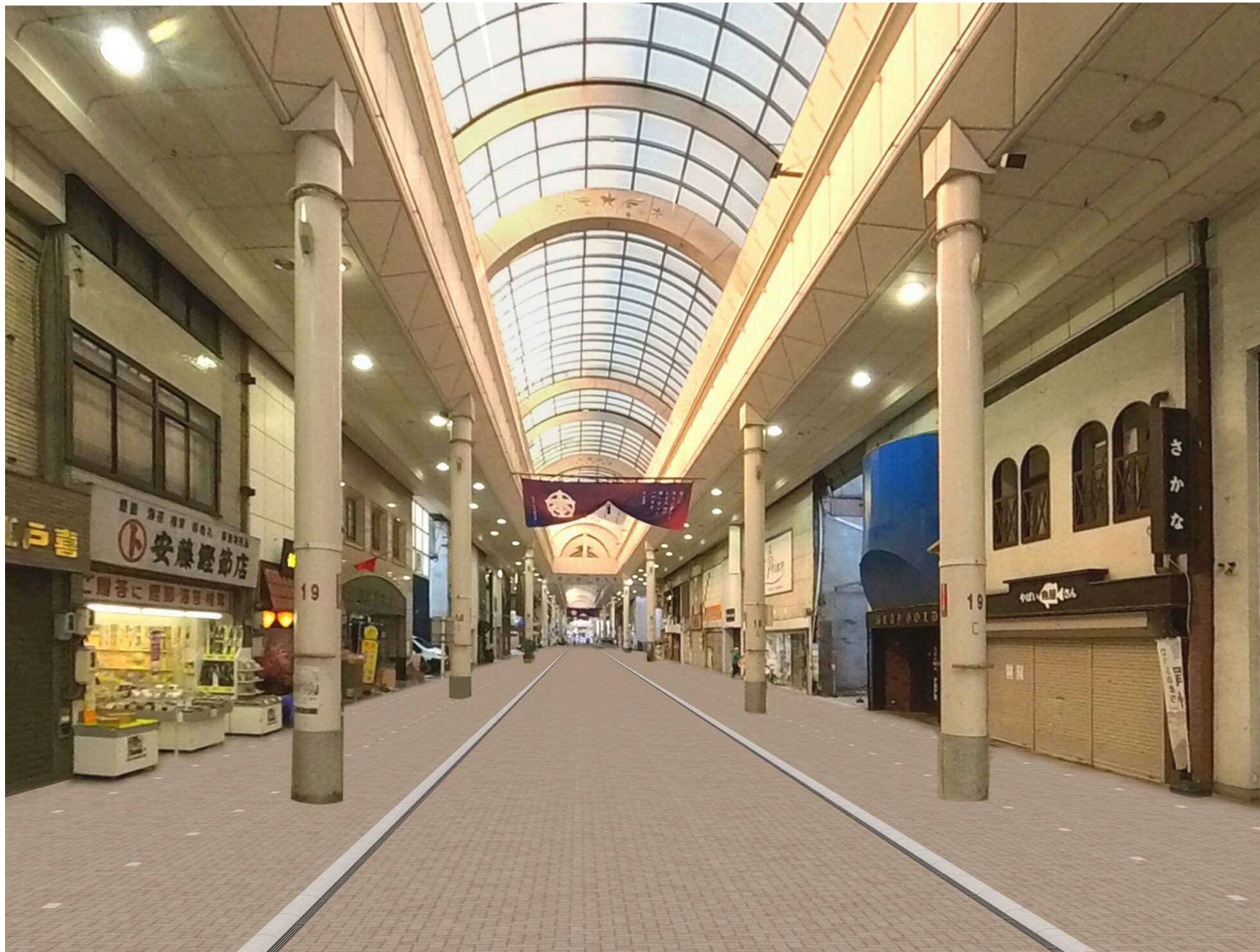
7月下旬：七夕祭りの御衣
奉獻大行列（本町通り）



4月初旬：桃花祭の神幸行列
2022/4/4 中日新聞
記事：3年ぶりひづめの音を響かせ
一宮・真清田神社桃花祭で神幸行
列より

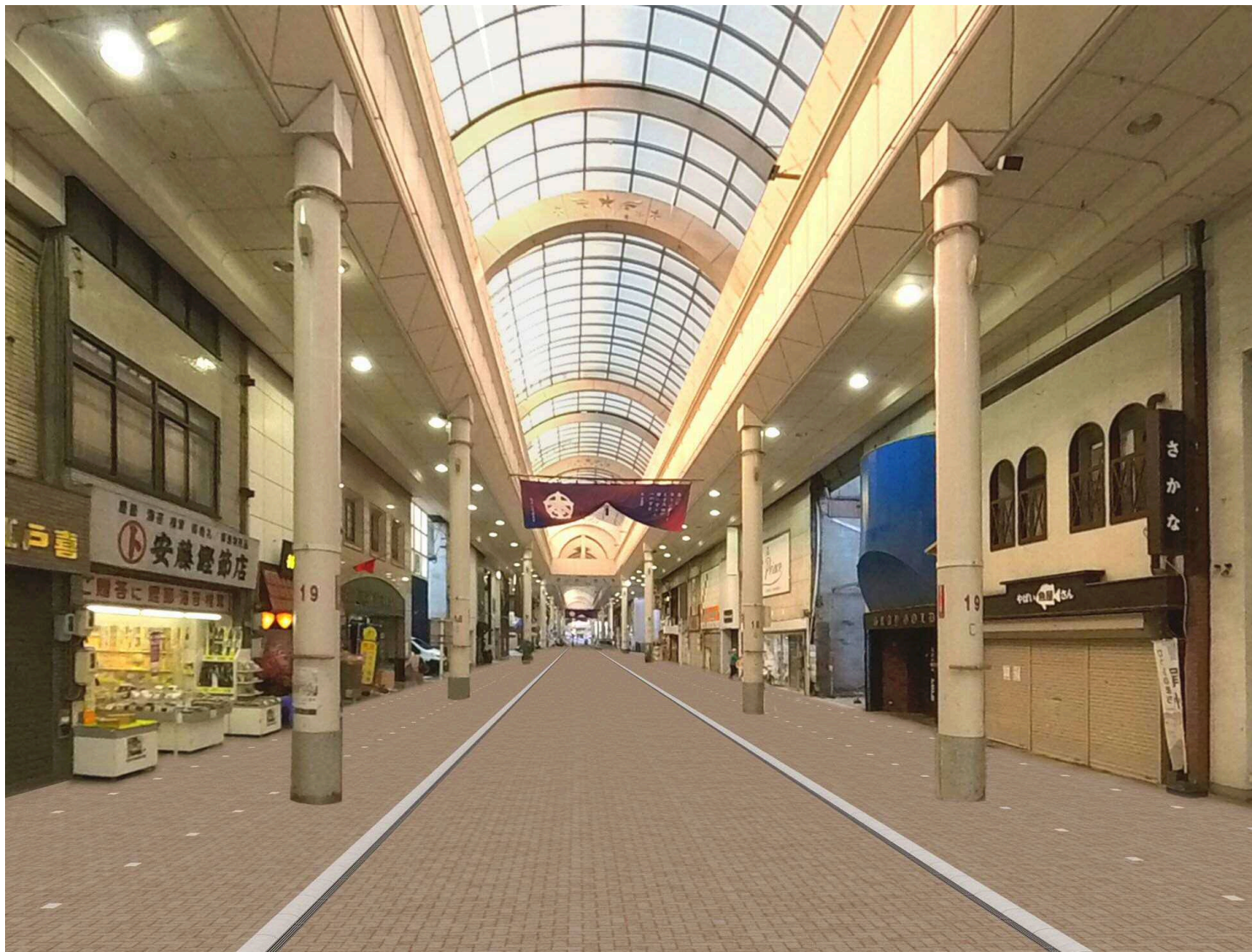
車道・歩道のデザイン

明ブラウン系単色案



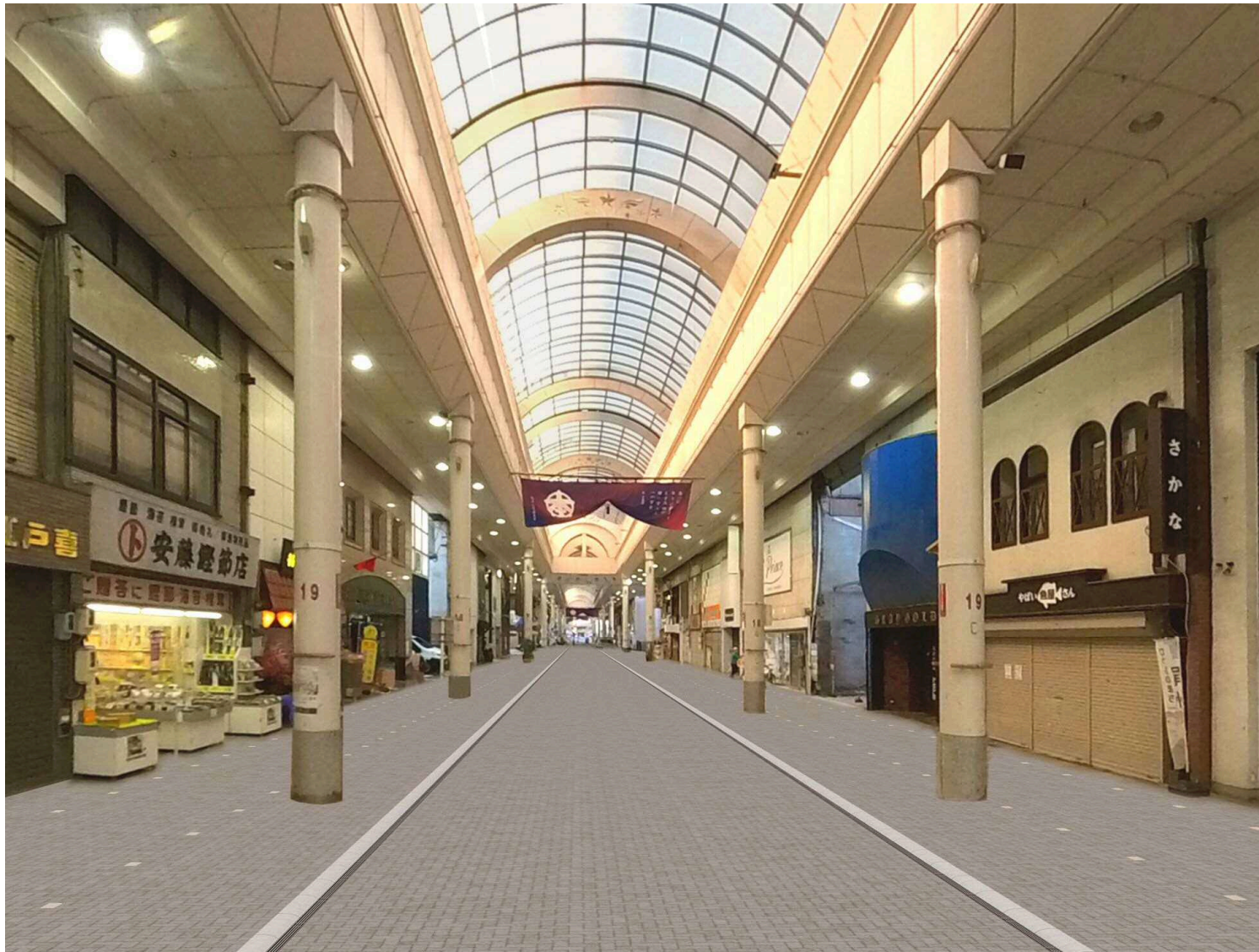
車道・歩道のデザイン

ブラウン系単色案



車道・歩道のデザイン

グレー単色案



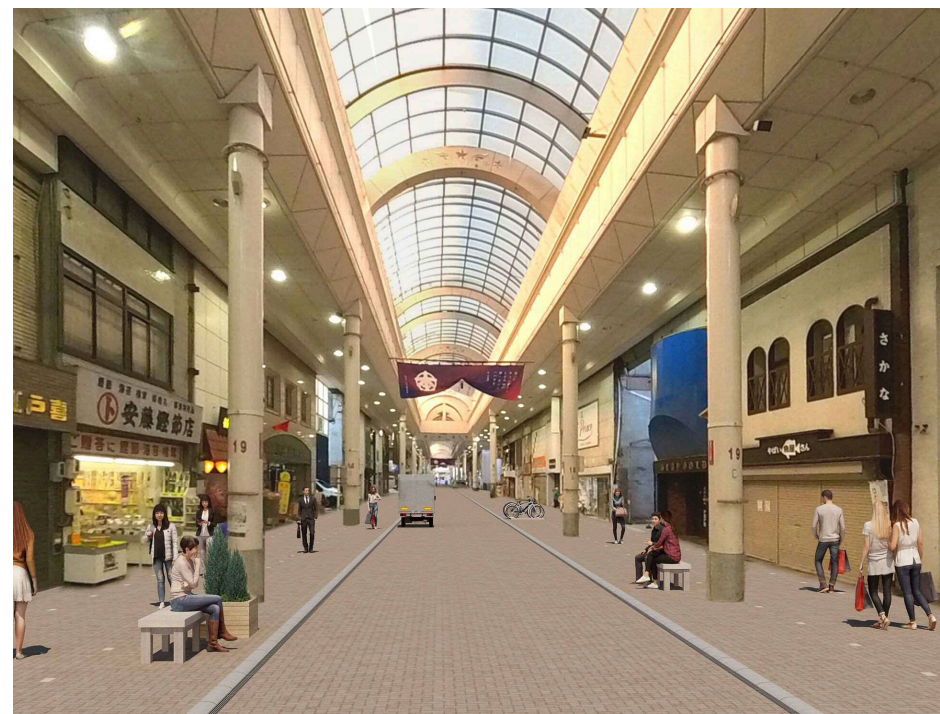
車道・歩道のデザイン

パターン舗装案



一丁目と二丁目以降のつながり

- 一丁目と二丁目以降で舗装を連続させることで、真清田神社の参道・商店街としての一体性を強調しながらも、歩くだけの通りではなく、広場的な雰囲気になること、日常的に利用する際にうるさくないデザインを考えています。
- 一方、最終的なデザインの決定においては、警察との協議や、有識者の意見、本日の対話型説明会の意見も踏まえながら検討します。



今後の予定

- 工事については、来年度以降段階的に行う予定です。
- 新しい本町通りの姿を踏まえ、どのような占用物（ベンチや暑熱対策のミストなど）を置きたいかの議論はこれから本町商店街を中心に進めていきたいと考えています。
- あわせて、商店街の店舗が自店舗前の歩道を活用する際のルール等も商店街を中心に進めていきたいと考えています。

本日はご意見いただきたいこと

➤ 道路断面及び舗装デザイン等に対する意見や感想

→本日の意見を検討に反映させながら、警察協議及び有識者の意見、本日の対話型説明会でいただいたご意見を踏まえ具体的な設計を進めます。

➤ その他の設備や道路空間利活用等に関するアイデアやご意見など